

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 大

上場会社名 サンコール株式会社

コード番号 5985 URL <http://www.suncall.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田茂次

問合せ先責任者 (役職名) 業務・管理部門長 (氏名) 和田英夫

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 075-881-5280

平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	12,566	△27.9	628	△52.6	624	△54.2	310	△59.0
21年3月期第2四半期	17,436	—	1,324	—	1,363	—	757	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	9.26	9.21
21年3月期第2四半期	23.68	23.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	31,198	24,278	77.5	724.59
21年3月期	30,108	23,506	77.8	697.51

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 24,179百万円 21年3月期 23,421百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.00	—	4.00	12.00
22年3月期	—	3.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	9.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	△11.6	1,400	33.0	1,300	57.8	500	118.6	14.98

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 34,057,923株 21年3月期 34,057,923株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 688,099株 21年3月期 479,277株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 33,546,782株 21年3月期第2四半期 31,973,278株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。

実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

【全般的概況】

〔経済及び事業環境〕

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内外の景気対策の効果等により緩やかな回復基調になりました。増産や海外需要の持ち直し、在庫調整の進展等によって、厳しいながらも景気は下げ止まってきた一方で、円高が急激に進行し、個人消費も依然低迷しています。世界経済においては、中国は景気回復してきているものの、欧米では回復までまだ時間がかかりそうです。

当社におきましては、主に自動車産業関連の顧客からの受注は緩やかではありますが増加しており、また昨年からの原価改善活動の効果も出てきていることから、最悪期から抜け出しつつある状況になってきました。

このような環境の中で当社グループは、コアである精密塑性加工技術と素材から加工品までの一貫生産メーカーとしての特長を活かしながら、需要に見合った生産体制の構築や原価低減、経費削減などに注力し、部品メーカーとしてお客様の要求品質と供給責任を全うすべく努力してまいりました。

〔連結業績〕

当社グループの売上高は、当初の計画より落ち込み幅は減少したものの依然として前年同期間比ですべての製品区分において減収となり、全体で125億66百万円（前年同期間比27.9%減）となりました。

利益面につきましては、前期から引き続き原価低減活動、設備投資抑制、役員報酬及び管理職給与の減額や経費削減など総費用抑制による収益確保に努めましたが、急速な円高もあり、売上の落ち込みによる利益の減少をカバーするまでに至らず、営業利益、経常利益、四半期純利益は、それぞれ6億28百万円（前年同期間比52.6%減）、6億24百万円（前年同期間比54.2%減）、3億10百万円（前年同期間比59.0%減）となりました。

【製品区分別の売上業績】

製品区分の名称	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増 減	
	自平成20年4月1日 至平成20年9月30日		自平成21年4月1日 至平成21年9月30日			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密機能材料	2,059	11.8	1,352	10.8	△707	△34.3
精密機能部品	10,134	58.1	7,238	57.6	△2,896	△28.6
サスペンション	2,175	12.5	1,856	14.8	△319	△14.7
プリンター関連	1,515	8.7	1,192	9.5	△322	△21.3
デジトロ精密部品	1,337	7.7	871	6.9	△465	△34.8
その他製品	214	1.2	55	0.4	△158	△74.0
合計	17,436	100.0	12,566	100.0	△4,869	△27.9

〔精密機能材料〕

弁ばね用高強度ハイテン材の欧米向け輸出や、ミッションやエンジン用途向け精密異形材の受注動向は緩やかに回復してきているものの前年同期間の水準にまでは至らず、売上高は13億52百万円（前年同期間比34.3%減）となりました。

〔精密機能部品〕

主力の弁ばねやシートベルト用ぜんまい、センサーリング等の受注動向も又、緩やかに回復してきているものの前年同期間の水準にまでは至らず、売上高は72億38百万円（前年同期間比28.6%減）となりました。

〔サスペンション〕

円高及び価格下落の影響で、サスペンションの売上高は18億56百万円（前年同期間比14.7%減）となりました。

[プリンター関連]

ベトナムでのチューブローラーは好調を維持しましたが、その他の地域では価格競争の激化や販売数量減によって、売上高は11億92百万円（前年同期比21.3%減）となりました。

[デジトロ精密部品]

北米向け光部品の受注状況が少し持ち直したものの、その他地域向けが振るわず、売上高は8億71百万円（前年同期比34.8%減）となりました。

[その他製品]

カム製品などの販売低迷により、売上高は55百万円（前年同期比74.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債・純資産の状況

[資産]

総資産は、311億98百万円（前連結会計年度末比10億89百万円増）となりました。これは、減価償却により機械装置及び運搬具が4億63百万円、当社の退職給付制度の改訂等により前払年金費用（投資その他の資産の「その他」）が5億25百万円減少したものの、売上高の回復に伴い受取手形及び売掛金が12億27百万円、現金及び預金が13億80百万円増加したこと等によるものであります。

[負債]

負債は、69億20百万円（前連結会計年度末比3億17百万円増）となりました。これは、当社の退職給付制度の改訂等により退職給付引当金が5億38百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が5億59百万円、未払法人税等が1億50百万円増加したこと等によるものであります。

[純資産]

純資産は、242億78百万円（前連結会計年度末比7億72百万円増）となりました。これは株価回復によりその他有価証券評価差額金が3億54百万円、為替換算調整勘定が2億96百万円増加したこと等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ13億80百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末には、61億11百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、22億59百万円の増加（前年同期間は16億60百万円の増加）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益（6億31百万円）や減価償却費（11億67百万円）、たな卸資産の減少（5億34百万円）、仕入債務の増加（5億65百万円）等の増加要因に対し、売上債権の増加（11億67百万円）等の減少要因があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、6億56百万円の減少（前年同期間は7億32百万円の減少）となりました。これは、主に固定資産の取得による支出（7億1百万円）があったことと、投資有価証券の売却による収入（40百万円）によるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億64百万円の減少（前年同期間は8億36百万円の減少）となりました。これは、主に配当金の支払（1億35百万円）と自己株式の取得による支出（69百万円）によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

顧客向け売上増が引き続き見込まれることに加え、原価低減活動の成果や第2四半期連結累計期間の業績も踏まえ、平成21年5月12日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,113	4,732
受取手形及び売掛金	5,916	4,688
商品及び製品	923	1,269
仕掛品	1,392	1,239
原材料及び貯蔵品	981	1,255
その他	373	727
貸倒引当金	△0	△7
流動資産合計	15,699	13,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,769	3,795
機械装置及び運搬具(純額)	5,593	6,056
その他(純額)	2,552	2,571
有形固定資産合計	11,915	12,424
無形固定資産		
投資その他の資産	209	248
投資有価証券	2,936	2,369
その他	441	1,160
貸倒引当金	△4	—
投資その他の資産合計	3,373	3,530
固定資産合計	15,498	16,203
資産合計	31,198	30,108
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,331	2,771
短期借入金	425	386
未払法人税等	151	1
役員賞与引当金	8	—
賞与引当金	259	254
製品保証引当金	7	7
その他	1,672	1,597
流動負債合計	5,857	5,019
固定負債		
長期借入金	123	159
退職給付引当金	432	971
その他	506	453
固定負債合計	1,062	1,583
負債合計	6,920	6,602

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,742	2,742
利益剰余金	16,091	15,915
自己株式	△277	△208
株主資本合計	23,364	23,258
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,148	793
為替換算調整勘定	△333	△630
評価・換算差額等合計	814	162
新株予約権	98	84
純資産合計	24,278	23,506
負債純資産合計	31,198	30,108

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	17,436	12,566
売上原価	14,059	10,345
売上総利益	3,377	2,220
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	336	265
報酬及び給料手当	531	429
役員賞与引当金繰入額	13	8
賞与引当金繰入額	95	42
退職給付費用	56	48
その他	1,018	798
販売費及び一般管理費合計	2,052	1,592
営業利益	1,324	628
営業外収益		
受取配当金	42	22
物品売却益	53	19
その他	37	52
営業外収益合計	133	95
営業外費用		
為替差損	76	81
その他	18	18
営業外費用合計	94	99
経常利益	1,363	624
特別利益		
有価証券売却益	10	15
その他	0	0
特別利益合計	11	15
特別損失		
固定資産廃棄損	17	8
その他	4	0
特別損失合計	21	8
税金等調整前四半期純利益	1,353	631
法人税、住民税及び事業税	635	142
法人税等調整額	△38	178
法人税等合計	596	321
四半期純利益	757	310

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,353	631
減価償却費	1,247	1,167
のれん償却額	35	—
引当金の増減額(△は減少)	66	△17
受取利息及び受取配当金	△49	△26
支払利息	14	12
固定資産廃棄損	17	8
売上債権の増減額(△は増加)	△265	△1,167
たな卸資産の増減額(△は増加)	△340	534
仕入債務の増減額(△は減少)	474	565
その他	△297	288
小計	2,255	1,997
利息及び配当金の受取額	49	26
利息の支払額	△14	△11
法人税等の支払額	△629	△17
法人税等の還付額	—	263
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,660	2,259
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△746	△701
固定資産の売却による収入	1	0
投資有価証券の売却による収入	14	40
貸付金の回収による収入	5	7
その他	△7	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△732	△656
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△29	21
長期借入金の返済による支出	△454	△35
配当金の支払額	△350	△135
自己株式の取得による支出	—	△69
その他	△1	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△836	△264
現金及び現金同等物に係る換算差額	△118	42
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△26	1,380
現金及び現金同等物の期首残高	4,163	4,730
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,137	6,111

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。